

# 博士学位論文作成要項

平成 22 年 4 月 21 日

医学系研究科

博士学位論文は以下に従い作成すること。


## 書式

ワープロ等を用い、A4 紙に次の書式に準じて作成すること。

- ① 余白は上下左右各 25~30 mm とし、段組は 1 段、行間は 2 行とする。ただし、図、表の説明文については、行間は 1 行とする。
- ② 本文の英文フォントは「Times」、和文は「明朝」あるいはそれらの類似フォントとし、サイズは 12 ポイントとする。論文のタイトルは 16 ポイントとする。
- ③ 余白中央下に頁数を入れる。

## 記載内容

記載にあたっては以下の点に留意すること。

- ① 論文のタイトル、所属、指導教員名、申請者名の順で記載すること。
- ② 「要旨」は和文 300 字あるいは英文 250 語以内とする。
- ③ 「序文」には、先行論文を多数引用しながら、できるだけ詳しく本研究の背景（当該領域および関連領域に関する研究の進展状況を含む）、目的および着眼点を記載すること。
- ④ 「方法」には、各実験や手法の適確性を把握できるように、用いた方法を簡潔かつ明瞭に記述すること。
- ⑤ 「結果」には、研究の全体の把握が容易なように、各実験や手法の意図、結果ならびに導き出される結論あるいは示唆を、筋道立てて記載すること。実験や研究内容を分担した場合は、申請者が行なった部分が明確に分かるように記載すること。
- ⑥ 「考察」には、本研究からどのような結論が導かれるか、何を発見したのか、先行研究などを含めた上でその独自性と当該および関連領域へのインパクトは何か、本研究の限界（方法上の弱点など）は何か、本研究の意義、今後の発展の方向性について記載すること。
- ⑦ 「引用文献」は、学術誌の場合は著者名、論文タイトル、雑誌名、巻数、頁、発行年をこの順序で、本の場合は著者名、本のタイトル、著者、頁、発行年を同様に記載すること。本文中の引用箇所に〔文献番号〕を挿入すること。（〔文献番号〕は指導教員又は審査委員会の指示があった場合に限り、著者・発行年とすることができる。）図や表は本文中に挿入し、タイトルと説明文を記載すること。（図・表は指導教員又は審査委員会の指示があった場合に限り、巻末にまとめることができる。）説明文は、図・表の実験や手法を容易に理解できるよう十分な内容を含みかつ簡潔であること。
- ⑧ 該当する場合は、倫理面への配慮について必ず記載すること。倫理委員会の承認を得た研究であればその承認番号を記載する。
- ⑨ 該当する場合は、謝辞について記載する。

なお、「目的」および「結論」の項目を新たに設け、それぞれを「序文」および「考察」の後に記述してもよい。